

再評価結果（平成29年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：川崎 茂信

事業名	一般国道7号 <small>ふたついまいずみ</small> 二ツ井今泉道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点	自：秋田県能代市 <small>のしる ふたついまちこつなぎ</small> 二ツ井町小繋 至：秋田県北秋田市 <small>きたあきた いまいずみ</small> 今泉			延長	4.5 km
事業概要					
<p>一般国道7号は、新潟県新潟市を起点とし青森県青森市へ至る延長約553kmの主要幹線道路である。 二ツ井今泉道路は、日本海沿岸東北自動車道の一部を構成し、道路の安全性及び災害時のリダンダンシ一確保、地域の基盤産業の支援を目的とした能代市二ツ井から北秋田市今泉を結ぶ延長4.5 kmの自動車専用道路である。</p>					
H24年度事業化		H一年度都市計画決定 (H一年度変更)		H25年度用地着手	
				H26年度工事着手	
全体事業費		約150億円		事業進捗率 17%	
計画交通量		12,600台/日		供用済延長 — km	
費用対効果 分析結果	B/C	総費用	総便益	基準年	
	(事業全体) 1.4 (残事業) 1.8	(残事業)/ (事業全体) 105億円/ 140億円 〔 事業費 : 95億円/ 131億円 〕 〔 維持管理費 : 9.5億円/ 9.5億円 〕	(残事業)/ (事業全体) 192億円/ 192億円 〔 走行時間短縮便益 : 153億円/ 153億円 〕 〔 走行経費減少便益 : 26億円/ 26億円 〕 〔 交通事故減少便益 : 13億円/ 13億円 〕	平成28年	
感度分析の結果					
<p>【全体事業】 交通量 : B/C=1.2~1.6 (交通量 ±10%) 事業費 : B/C=1.3~1.5 (事業費 ±10%) 事業期間 : B/C=1.3~1.4 (事業期間 ±20%)</p> <p>【残事業】 B/C=1.5~2.1 (交通量 ±10%) B/C=1.7~2.0 (事業費 ±10%) B/C=1.7~1.9 (事業期間 ±20%)</p>					
事業の効果等					
<p>①円滑なモビリティの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第三種空港（大館能代空港）へのアクセス向上が見込まれる（能代市役所～大館能代空港、43分→39分）。 <p>②物流効率化の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要港湾（能代港）へのアクセス向上が見込まれる（能代港～小坂町役場、87分→75分）。 <p>③国土・地域ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たに拠点都市間（能代市～大館市）を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する（大館市役所～能代市役所、74分→61分）。 <p>④個性ある地域の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要な観光地（世界遺産「白神山地」）へのアクセス向上が期待される。 <p>⑤災害への備え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急輸送道路ネットワーク計画に位置づけがある（一般国道7号は秋田県緊急輸送道路ネットワーク計画において「第1次緊急輸送道路」に指定）。 ・緊急輸送道路が通行止めになった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する。 					
関係する地方公共団体等の意見					
<p>○秋田県知事の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本県では、高速道ネットワークの早期完成を県政の重点施策に位置づけ、未開通区間の整備促進に全力で取り組んでいるところであります。「二ツ井今泉道路」については、日本海沿岸東北自動車道の一部を構成し、交通混雑の緩和や交通事故の削減、企業立地の促進、観光振興、救急医療活動の充実など、多方面にわたる効果が期待できるものと考えていますので、引き続き、コスト縮減に努めながら早期の開通に向けて事業の促進をお願いします。 ・また、高速道路は、全体がつながってこそ一層大きな効果が発現されることから、本道路と併せ、未事業区間の早期事業化と事業中区間の早期開通など取組の強化をお願いします。 <p>○以下の団体から、二ツ井今泉道路を含む日本海沿岸東北自動車道の整備促進について要望あり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高速道路の早期全線開通要望（秋田県知事） ・日本海沿岸東北自動車道建設促進秋田県北部期成同盟会（会長 大館市長） ・秋田県北部国道7号整備促進期成同盟会（会長 能代市長） ・北秋田市日沿道・あきた北空港～二ツ井白神間建設促進期成同盟会（会長 北秋田市長） 					

事業評価監視委員会の意見 対応方針（原案）どおり「事業継続」が妥当である。	
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない ・平成25年11月に大館北～小坂間（L=16.1km）が開通し、東北自動車道と接続 ・平成27年度に現道活用区間（L=18.0km）のうち、能代地区線形改良（L=2.0km）が新規事業化	
事業の進捗状況、残事業の内容等 ・事業進捗率17%（うち用地進捗率79%）	
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ・事業の進捗に係る問題はない。	
施設の構造や工法の変更等 ○コスト縮減 ・機能補償のため設置する交差道路2路線の集約、及びこ道橋を側道切回しに変更し、コスト縮減を図る。	
対応方針	事業継続
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる	
事業概要図 	

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。